滿州日報

報日代 每月收取八角 賣所及送報人 料無分毫加增
告白字例（一行五號十九字起碼）
一日每行一角
二日至十日每行一角五分
月者每行每日一角 登長年者 價目面議
從減 每張四百文

[illegible]紅糧價錢五吊四百文至五吊
粟市共上車三十餘輛
遼車共來七十餘輛
元豆六吊九百至六吊八百

一連紙 一圓
一ブールスカアプ全 四圓
一中判洋紙全 二圓
一半紙 野紙 百枚 二十錢
一雲紙 四十枚綴 十四錢

一椅子 一圓[illegible]以上[illegible]四圓五十錢
一書箱 三十圓以上三十五圓
一卓子 四圓五十錢以上十五圓五十錢
一卓子掛 六圓以上十二圓
一新聞用戸棚 七圓五十錢以上十圓

一長火鉢 八圓以上十一圓五十錢
一箱火鉢 二圓以上三圓五十錢
一宜德火鉢 一對 六圓以上九圓

Payable in Advance. Postage Included.
The Manchuria Daily Report Office.
Newchwang.
Telephone No. 29.

特別廣告

日本郵船株式會社 營口出帆廣告

●相模丸 卅一日出帆 太沽、芝罘、仁川、釜山、長崎、門司、神戸行
●山東丸 廿六日午前出帆 太沽、芝罘、門司、神戸行
大連出帆
●横濱丸 三十日午後二時 門司、神戸行

乘船切符發賣は出帆前三時間マデ 未明出帆ノ分ハ前日午後五時マデ

營口 代理店 旗昌洋行（電話二六番）

大阪商船株式會社 營口出帆廣告

●能登丸 二十九日 入港

代理店 ブラソニ兄弟商會 東營口公園地横 遠來洋行（電話二十三番）

瀛船出帆廣告

●日米丸 廿八日 門司行
●萬成源丸 廿四日 天津行
●第二琴平丸 二十五日 大連、門司、神戸行

松茂洋行船舶部 海岸東稅關西 電話（五二）（五七）

朝日ビール、スペシャルライト 廉價販賣仕候 滿洲一手販賣元

松茂洋行商品部（電話五二番）

社告 本社支局及販賣所

今般左記各地へ本社支局及販賣所を開設致し其地に於ける滿洲日報販賣廣告印刷物取次等の業務に從事爲致候間購讀及依頼者諸君は支局又は販賣所へ御申込被下度此段謹告候也

大石橋市街 瑞穗洋行
遼陽西門外 芳文館
奉天大南門内景祐宮胡同 本社支局
大連盤城町 岡野新聞舗
安東縣新市街 天祐公司
新民府 泰東公司

▲資本金貳千四百萬圓
▲積立金一千壹百五拾萬圓

横濱正金銀行牛莊支店

本支店出張所 横濱 神戸 東京 長崎 大阪 倫敦 里昂 紐育 桑港 布哇 孟買 香港 上海 漢口 天津 北京 大連 旅順 奉天 遼陽 芝罘 鐵嶺 安東縣

（電話十番支配人室 二百八番事務室）

正隆銀行

軍政署認可

營業項目
一定期預金（長期存款） 三ヶ月 五分 六ヶ月 按年五分五厘 一ヶ年 六分
一當座預金（暫存款） 按年 四分五厘 日步 一錢二厘三毛
一小口當座預金（零砕暫存款）（按年五分一厘 日步一錢四厘）
一送金爲換取組先（匯兌） 東京、横濱、大阪、神戸長崎、上海天津の横濱正金銀行本支店
一貸附金（放利） 一般財産並に土地建物の管理を引受くること 不動産抵當貸附金の委託を引受くること
一附帶ノ業務

本行受入の貨幣は軍票及正金一覽拂手形は勿論墨銀小銀貨に至る迄夫々御都合宜敷樣可相働候尚近々の内過爐銀の取引をも開始可致候

營口西北街第二百三十號（日本人會西隣） 支配人 深水十八（電話二百十番）

●ぬ號勸業貯蓄債券（五圓券）發賣

宅洋行

啓者敝行專賣綿紗粗布綿絲布荷花標布東洋緞子紋緞子絨布手巾花巾洋胰火柴鐘表等類價値格外克己並且貨眞價實以致敝行名譽日增茲蒙官許在牛家屯設立鐵道運輸營業以便貴客就近辦理各項事宜於敝行推廣招徠之意愈覺著明所有華商賜顧本行專聘熟悉商情之華人宋厚田氏細心接洽款待周群俾可面商一切事宜幸中外士商鑒其誠實無欺惠臨賜顧曷勝榮幸之至 總司理人 田中顯之助 謹白

開設老爺閣街同盛德院内 電話（店一八三番 住所五五番）

東盛和

本號在營口創設二十餘年專辦出口餅油豆各等土貨進口棉絲布疋火柴洋麵糖煤紙貨發行並匯兌銀錢兼代客經理買賣租船裝運事宜營口廣東兩處自建碼頭能泊輪船二艘機房地方寬大凡泊輪船裝卸貨物極爲利便圓貯油餅豆米麥更爲合宜兼置有輪船一艘名域多利能載重二萬担如有欲租船運貨及存機貨物水脚機租格外從廉一貴客賜顧請到小號面議是有 總司理人 葉亮卿 謹白

東永茂

機器油房在營口創辦油榨生意多年以本營業非祇做油房壹事及經理買賣雜貨布疋等物并代客莊運瀛船配載事宜三井行與本店素稱交厚並與各處北客經理有年誠信相孚遐邇知之 正理事 潘玉田 副理事 金德魁 設在營口西北街路南

西義順

本號開設營口西街老爺閣前路南警乙第五號專管裝卸輪船上下各貨照料穩妥堆棧寬大凡中外士商賜顧者請認明招牌決不致悞 本主人敬啓

仁裕號

係裝運各貨火輪船生意兼賣各貨洋什貨糧石等此佈 營口西大廟路北警乙第十三號

永順洋行

本行在東京開設三百餘年專辦布疋此次得大日本政府特許般運各色布疋手巾綢緞子洋閃絨等貨來埠發售類色鮮明俱照中外士布家綿白染決不退色價亦格外公道官商光顧請到本行面議 北街東櫃（電話九十五番） 西義順棧内西膠（電話九十八番）

三井

電話 第六十六号 第九十一号

啓者本行開創在中外通商各埠已有年歷所售棉紗、棉布、火柴、煤炭糖、海參等各貨均皆物美價廉名馳遠近如蒙各商光顧請駕臨是荷

倉庫部 經理

○發售新到洋白糖

今回倉庫所在地（靑堆子精搗場上隣り河岸）の取扱所に電話を架設致し候間貨物の出入其他倉庫に關する一切の件は同所へ御照會被下度願上候

○明治火險公司 （電話百二十八号）
本公司開立已久分行上海、香港、天津、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保火險者請至本行面議

○發售日本白米

○東京水險公司
啓者本公司開設在三井洋行内已久實存資本百五十萬元、分行、新加坡、倫敦、孟買、天津、上海、香港、各地方中外馳名一概章程仿英例一式遇事克己秉公以廣招徠有願保平安、水漬、兵險者、請駕至本行面議

啓者火災之害影響於商界者最鉅營口爲通商大埠百貨○集實本浩繁有保險以維持之可以有特無恐法至良意至美也小行經理日本明治火險公司已歷多年幸蒙中外所信用前有王鹿芹朱斐章郭漁笙先生久在營口信義素著且於保險章程最能熟悉小行特請爲代理人以廣招徠使保險者便於接洽聲應氣求較之直接尤爲穩妥諒亦商所樂聞乎如蒙賜顧請逕至大德亨内面議可也

三井洋行啓

營地商務之盛大異昔年惟於火險一道以謂關於天數吝惜保費孰知一家東本數萬金常存數十萬金之貨一遇不測非但數十年老業難繼即殷實東家亦覺受累無窮可見保險之有益匪淺鮮哉 僕等承三井洋行謬愛囑爲代理日本明治火險公司保險各事 僕等素知該公司及該洋行信義久著故敢代爲介紹且保費亦較他公司克己諸公賜顧請 駕臨大德亨内面議不誤

王鹿芹 朱斐章 郭漁笙 仝啓

洋行 電話 第六十六号 第九十一号

牙大夫學士兒島醫院

DENTIST. Dr. KOJIMA.

●語曰齒全壽長 ●營口元神廟衚

告白

啓者本院主從來於森醫院齒牙治療從事則近時稍感狹隘因今別卜居開院新式諸器械完備無遺憾專足於敗治牙疼施術齲窩金銀充塡落齒補足妙技奏有齒牙疾患者希咀嚼快者欲皓齒金光燦爛美者速來知神秘妙執事

鐵道 遼河 裕和盛運輸局

（電話八十一号） 在東營口西北街旗昌洋行對門

啓者本号向在日本長崎開設數十年開店在朝鮮國漢城仁川木浦各處順烟臺營口鐵嶺等處專賣中外雜貨疋頭食物器具酒烟兼代客報關裝船裝車今又承辦東淸鐵道運輸局代客裝運貨物各車站均設分局格外周到不悞主顧 總司理主人 周鶴雲 謹 運輸部主任 高濱麟太郎 啓

營口 承文信記書坊

現廣西大街粤東會館前阜豐棧内專售古今書籍及石印教科新書石板石粉筆等一概俱全如蒙 商士賜顧者價照批發格外克已不誤 本號主人謹白

SP 系平公司

本舖在大阪開業以來一百餘年今特於本埠新設支店所有發賣物品貨美價廉如蒙中外士商賜顧請至本行購買可也今將自製布類列下●洋各色絨布毯子各式被面各色布疋各種綿布 其他一切織物概行發賣並特約販賣（正日光 皮酒價及各樣雜貨尤廉減特此廣告 朝日ビール特約大販賣 營口元神廟街南邊路西（電話百九十二号）

日本官造紙煙專售告白

本號現開設在大連、安東縣、營口、遼陽、奉天、鐵嶺、等處專售日本官造紙煙朝日（紅旭牌）大和（雲花牌）敷島（蓬島牌）娟嫣唎（軍旗牌）降佑來福（雙仙鶴牌）利利（百合花牌）捷利（櫻花牌）斯達（星象牌）哥耳天巴德（蝙蝠牌）等九種及煙絲各樣 東營口西北街（舊代代木公司） 日本官煙營口專賣處

丸重轉運行

啓者本行前經關東總督之特准開辦東淸鐵道轉運行專代客裝運貨物安全速達價亦格外公道以致名聲日增今又各車站設均分莊運輸決無誤如蒙貴商光顧請面是議荷 營口西北街（電話八十號） 既設分局 牛家屯車站（電話四十六號） 遼陽、奉天、昌圖各車站

關東玻璃公司

本公司自造各項玻璃器物貨色精工市價從廉光顧者請至 營口永世街 第五號門牌便是

靑堆子 菅野玻璃廠

玻璃器什遠運必有破壞從價不廉茲本主人開辦玻璃廠聘許多好手藝之人自造各樣洋燈罩子瓶碟等凡所有玻璃器什類一概發賣價値公道主顧不誤官商幸給顧光特告白 本主人謹白

志岐組 木料棧 材料出售

啓者本棧開設鎭口永安街專售鴨渾兩江之各種木料品質精良價値格外從廉克己凡中外士商光面議顧請到本棧

志岐組

本組開設營口毅定門外專辦架造房屋及做工之事自今發售各種日本木料洋灰玻璃洋酒麥酒便利瓦等類價値格外從廉品質精良並且貨眞價實以致本組格外名譽其誠實無欺惠臨中外士商賜顧請到本組面議是幸 本主人謹白

●銃砲火藥販賣業

本行蒙官允准專賣各種洋鎗洋炮以及火藥鎗彈等件物美價廉需者發售如蒙中外紳商賜顧者請到本行面議可也 官許商 秀淸洋行 鐵嶺東門大街

發行所 淸國營口中盛街 滿洲日報社（電話二九番）

●印判彫刻 ●ゴム印 ●活版名刺 ●各色印肉インキ附屬品一式

各位の御引立に依り日に月に隆盛に趣き候段奉謝候今回技術精好なる職工數名雇着候に付分舖設立と同時に一層勤勉を以て期日正確讀書紙廉貴需に應ず可く候間多少に不拘御下命被下度候 御報知次第店員參上仕候

刻字舖 營口永世街三十七号 尾崎洋行
奉天小西關大街二七八号南側 尾崎洋行分店

安東縣市場通七丁目 合資會社 秋田商會支店

洋鋼鐵 麥粉、白糖、白米、玻璃板、亞鉛板、鐵線、洋釘類、建築土工用具及船具類 其他諸機械ノ製作修繕

安東縣東大街 合資會社 秋田商會支店

東省巡航公司 業務廣告

本公司は牛家屯東稅關西稅關河北間に小蒸汽船ホ・チン號を往復せしめ牛家屯河北停車場發着列車の連絡を取り旅客の迎送をなす
本公司は牛家屯營口河北間貨物の運搬及曳船の依頼に應す
御用の節は電話二百三十六番へ御一報煩し度候
本公司乘船場は牛家屯停車場前棧橋河北停車場前棧橋東稅關棧橋西稅關東部にあり
切符發賣所は各乘船場及船中にて發賣す
回數切符は特に割引可致候

賃銀

自 \ 至	河北	西稅關	東稅關
牛家屯	三十錢	三十錢	二十錢
東稅關	二十錢	二十錢	
西稅關	十錢		

列車連絡時間表（日本時間）

東稅關午前五時發 牛家屯六時三十五分發列車に連絡
仝午前八時發 河北七時發列車に連絡す
西稅關午後六時四十分發 牛家屯發九時三十五分の列車に連絡
牛家屯午前九時四十分發 牛家屯九時十分着の旅客を迎ふ
牛家屯午後八時發 營口牛家屯間通勤諸士の營口歸りの便を計る
河北午後六時發 河北五時四十分の旅客を迎ふ

東省巡航公司 營口元神廟街第五十五號 電話番號二百三十六番 謹白

社告

我社の一週年
本紙の大發展

來る二十六日は營口占領第二次記念日にして又我社創立第一週年に當る乃ち本紙は此記臆すべき吉日を機とし我社の大發展を行はんとを期し既に新式印刷機を購入し活字を一新し職工を増加し新聞印刷以外汎く一般印刷物の注文に應ずるの準備を整へ紙面亦從來の六段を改めて七段總振假名附とし咀めて其內容を豐富流麗ならしめんが爲め更に記者を増聘して已に其發途に在り創刊以來幸に讀者の眷顧により我社は日進月歩の域に進みつゝありしと雖も未た大活躍の時機を捕捉するに至らさりしが今や滿一年にして更に大に發展を策するの好運に際會せり因て我社は當日の吉辰を祝すべく特に本紙を十二頁と爲すの案を立て之を發表せるに記事意外に増加せる爲め更に二頁を増して十四頁と爲し材料を精選する外特に其趣味を多からしめん爲め寫眞銅版及び目下來遊中の英畫伯及び其他の筆に成れる繪畫十數種を挿入し又別に添附するに最も卓拔奇警なる諷刺畫を以てす重ねて此に告白して讀者の諒を乞ふ

七月　日　滿洲日報社

倫敦電報

●**教育案の通過**（十八日發）　英國下院に於ては教育法案第三十七條ウエールス教育會議を設置するの件に付き激しき討論あり結局一〇七票に對する二九五票の多數にて原案通過せり

●**露都の暗殺企圖**（十九日發）　聖都附近兵舍に於て露國皇帝の侍從武官トドレーベン伯を暗殺せんと試みたるものあり兇行者はネワ河に繋ぎ置きたる用意の小航に投して遁れ去れり

●**加奈太巡幸謝絶**（上同）　英國皇帝陛下は加奈太御巡幸の請願を謝絶し玉ひて帝國版圖の大なる且つ目下の事態は股肱にして帝國の中心より遠かるを允さす

●**軍需品審査の檢閲**（上同）　埃及及蘇丹英國守備軍に於ける軍需品増加の必要額審査の爲め緊急檢閲を命せらる

●**大統領の講和斡旋**（上同）　グワチマラとサンサルヴアドル間に此程より釁端を開き双方共損傷少からさりしに合衆國大統領は双方に休戰を勸誘し媾和委員をして米國巡洋艦マーブルヘツド號甲板上に會見せしむる斡旋中なり

東京電報

●**兒玉大將の薨去**（二十三日午後零時特電）　參謀總長兒玉大將は今朝未明薨去されたり

●**同・別報**（同二時特電）　兒玉大將の死因は腦溢血なりと

鄰報

●**北京通信**　七月十九日　特別通信員

林公使の着任

北京在留民が待ちに待ちたる林新任公使は去る十四日午後の列車にて着任され候北京に於ける我同胞は我帝國の代表として將來我帝國の爲め且つは我國民の爲め目醒ましき才腕を振はるべく來られたる新任公使を滿腔の熱誠を以て歡迎せんが爲め東より西より擁擠來たり集まり流石に廣ろき前門外の停車場も殆ど日本人を以て填められ候頓て群衆の一方より滊車が來たとの呼聲を聞くと共に轟々の響次第に近づき次に車體見へ始め頃刻にして滊車は停まり棒縞の背廣にパナマ帽と云ふ質素の出で立ちをなせる林公使は新任公使館附武官中村海軍大佐と共に痩體を運ばして下車せられ候我出迎の同胞は電氣に吸收されし如く其方に近づき各人の眼は均しく林公使に集まり候眼を轉じて衆人の方を偸視せる小生には我同胞の總てが均しく云ふべからざる喜悦と滿足とを其容色に表はせる樣見受け候林公使及一行は出迎人に向つて鄭重なる沈默の挨拶をなせし後阿部書記官及公使館員一同先導により公使館守備隊に護衛せられて公使館に入られ候十六日午前林公使は阿部書記官中村大佐等と共に馬車を驅けりて外務部に赴むき那桐其他の大官に會見して新任の披露をなし午後は更に新任披露の爲め慶親王を其邸に訪はれ十七日は公使館にありて慶親王那桐唐紹儀等の答禮を受けられ候（瞿侗書は萬壽山にある爲め未だ會見されず）　西太后皇帝は目下萬壽山に避暑中にて來月中旬にあらされば御還宮あらせられさる由に候へば國書捧呈は御還宮の節迄見合する都合に候併し一切の日清交渉事務は其以前と雖も着々辨理致す筈の由に候

●**大連通信**　刀水生

▲今日迄に於ける諸機關諸設備總てが軍事本位であつた之れを大連大棧橋の使用許可に於て見る日限を切つての繋船日限か切れる更らに改めて出願の手續をせにやならぬことになつて居る而かも最初の日限以內よりは繋船料が高くなるのである、コンナ不條理なことが又と世にあらふか、風位の變るを悠々緩々港灣內に碇泊して風待したる帆船時代ならイザ知らず、機械力の發達したる今日の文明の世の蒸滊船、時間は即ち彼の命であつてソシテ入費であるので、ある無益の時間、無益の入費、爲すべしと命令した所で之れに應ずる筈はないのである、矧んや一日の滯船料、船の大小にもよるが、一日三百圓五百圓、或は千圓、莫大の計算になるのである、殊徒らに嗜好んで滯船させるものがあらふや、繋に噸數に對する一日一噸の繋船料が五錢假りに二千噸の汽船とすれば一日百圓要する譯である往航には積荷はあるが復航は荷物皆無といつてもよいこんな風である大連出入船舶、一噸五錢は容易からぬことである昨今てそ三井か內地へ搬出する米といふ當にせぬ餘計な收入即ち積荷かあるが爲めに、積荷上の便利の爲めに棧橋に繋船する………ヨシ豫定より繋船を永くするコハ之れ萬止を得さる場合に於てのことである、然るに其筋に於ける棧橋使用の規定によりて考一考するに、再願の繋船料を高くするが如きは全く罰則的であるのであつて商事的ではない、直に以て商事に迂い御役人樣の規定されたることが想像される、然り數字には精しいかも知れないが商業に要ゆる算盤玉をば承知のよい軍人の編成された規則だといふ事が想像されるのである、大棧橋使用して差支ない限り使用させてやるといふ御趣旨であるのである、既に平定後一年其今日に於て其軍政當時を夢みて諸般の事を規定する抔は沙汰の限りではあるまいか然し矢鱈に振廻されてはたまつたものじやアない袋に納むる場合にはサツサと袋に收めて貰いたいのである、大連の大棧橋何か故に建設せられたのであらう、大連は軍港ではない勿論商港とせにやならぬ筈である、既に軍隊輸送を終りて六個月後の今日專ら廣く商事に之れを使用するを奬勵せにやならぬ進んで勸誘せにやならぬのである、軍事本位で之れか使用方法使用料を規定するが如きは抑も本末を誤まつた致され方と非難するを憚からぬのである

▲聞所に據れば大棧橋は陸軍の手を放され鐵道の管理に移るさうである使用料に繋船料今の半分以下に引下げらるゝさうである大連は實に滿洲出入の玄關である來る者先一歩を染むべきは此大棧橋である其大棧橋使用容易になるといふ事は是ち大連の發展を早むる一の策であつて滿洲に我勢力を扶植する方傳の一なのであると言つて拍手するを禁せないのである

▲其他にも大連には軍事本位で割出されて居る事か尠なくない水道は海軍の管理する所である程戰時其當時は毎日千噸艦隊に供給する必要があつた海軍の占領するは尤のことである然し之れか供給を廢したる今日既に商時的に市を發達せしめにやならぬ今日に於て海軍か之れを占領して手放さぬ此間も民政署の經營に係る日本橋工事之れに要する水即ちコンクリートを製するに要する水一日に十餘噸宛を供給されたいといふ事を交渉した回答はソンナニ餘分の水は無いとへネつけたさうだ發電所も海軍構內にある勿論海軍の所管だ煙筒高二百十七呎二百五十キロアクトの器械三臺外に小器械三臺ある規模や大なるものである然り電氣力に仍て工作船渠の開扉等も爲すべきの裝置になつて居る海軍に大關係あるには相違ない然し又工風の仕樣一トつては民間に電燈か供給出來ない筈はないのである若してれを民政署に引渡したら或は又會社にでもしたなら遺憾なく海軍の用を辨するのみならす餘力を以て民間の需要を滿たすことが出來るのではあるまいか軍人の片意地なる民間抔とSふ事には一向頓着がないそして寶の持腐オツト折角に一般の便利に供され得べきをも供すに放つて置くといふノンキさ今の大連は陸軍の大連である海軍の大連である人民の直接關係の大連ではないのである

巴里風俗

●**鐵道受領委員出發**　鐵嶺に所用ある赴きを以て鐵道受領委員長中村少將には來る廿三日旅順出發の筈又第一回第二回とも木下督府參謀委員として任に赴きしも今回は松山督府參謀代りて出張の筈又堀提理部技師は此前回に於ては歸省中なりしにより缺席したりしも今回は一行に加はるへしといふ而して一行出發は廿四日なりと（廿一日旅順發）

●**滿韓視察學生の一行**　滿韓視察學生の不日來遊すべきことは本紙の屢ゝ記載せる所なるが其後更に聞く所に據れば一行中の甲班は琴平丸にて七月十五日宇品を發し同十九日大連に到着せる由にて其校名人員及び監督者を擧ぐれば左の如し

東京高等師範學校　二二九
監督者　教授　那珂通世
同　同　櫻井寅之助
東京府立學校　三二五
監督者　師範學校長　瀧川菊太郎
同　第二中學校長　森愼一郎
同　第三中學校長　入田三喜

にして乙班は小雛丸にて七月十九日宇品を發し同二十三日大連に着する筈にて其校名人員及び監督者を擧ぐれば左の如し

文部省直轄學校及學習院　一一九
監督者　第一高等學校教授　谷山初七郎
廣嶋高等師範學校　一五四
監督者　校長　北條時敬
同　校長　長屋順耳
大阪府中等諸學校　四三二
監督　大阪天中學校長　柴崎鐵吉
同　同市立高商　伊藤眞雄
同　同私立商校　山口馨
同　同八尾中校　宇都宮虎雄

●**遼陽官煙の大景氣**　遼陽は官煙賣捌の上に於て滿洲中最も古き歷史を有し既に昨年の三月中旬未だ炮煙の漲る戰時中代〻木商會は卒先して地を遼陽にトし官煙販賣業務を開始したるものなるか當時洋煙ピーコツクは同地にて資產に富む最も有力なる老舗利順德の一手販賣と言ふ有勢なる狀態なるより此勁敵に對抗する方法として廣告即ち官煙皷吹費を投したるもの決して少からず譬へば樂隊廣告に際し現品官煙を配付したる等其數も莫大なるものにて暫か洋煙を驅逐し追日官煙勢力範圍と化しつゝあれは將來は洋煙をして全く排除するに至らしむへく即ち昨今の賣行を徵するに遼陽官煙專賣所はリリーの一箱四十圓ロングライフ同四十二圓なりしを合同と同時にリリーを三十五圓ロングライフを四十圓となし更に同專賣所の下に有力なる代理店三個所を設け特に代理店に對しては大箱一個に小箱一個を添へ賣捌を以て價格の上に既に大懸隔を生するより利に敏なる淸商は近來著しく官煙を望むに至りたり利順德の發賣するピーコツクは大箱入百六十五圓內外なりといへばリリーの大箱入一個代百十六圓餘に比し實に數十圓の差額を賭るされは昨今リリーは市場に歡迎され殊に賣行卓出しおれりと此狀態を以て持續せば遼陽に於ける官煙の前途多望なりと云ふべし尚近日の內合同組織の廣告披露として趣味ある樂隊は數十流の旗幟を加へ遼外を練り歩く擧ある由なり

●**遼陽一覽の發行**　遼陽日本人會に於て發行する遼陽一覽は此程製本成り既に二千部は同地に着したる由なるが編者は曩に營口案內を編輯したる盛山雪窓子にして遼陽に於ける淸國政務組織より地理風俗商賈の狀態に至る迄殆ど網羅して餘す所なしされば遼陽天地を窺知せんとするものは一讀參考の資となすに足るべく尙附錄として奉天、鐵嶺の概況を添へあるを以て其至便言はん方なく眞に同地方に志を抱くもの〻爲めには好伴侶たる書籍なるべし附記す一部の代價六十錢なりと

日報俳壇

▲夏季雜題　句數又期日を限らす

雨に鎖す若葉の門や鷄の聲　稻波
暑き日の眼をとぢし鵜かな　小僧
昔賊あり蚊帳の四隅を斷ちしとな　古江生
金魚瓶に日の中したる暑さ哉　半骨
薰風やお銚子はこふ長廊下　醉雨
蚊柱の崩れて船に燈のともる　旅鳥
暑き戶を出れば月の遼河かな　老兵
髯おとてあらはれ出たり青簾　木嬰
小童の濁せしあとの淸水かな　千曲
太股へ白粉を塗る暑さかな　野梅

▲課題　雲の峰　蟬　午睡　七月末日まで
本社編輯局俳壇宛に御投稿を乞ふ

火車時刻

關內外鐵道

上り		
營口發	前八、一〇	七、〇〇
溝幇子同	九、四五	九、〇〇
錦州同	后三、四五	二、〇〇
山海關着	六、〇〇	八、一〇

下り		
山海關發	前七、〇五	四、四五
錦州同	后二、三五	二、〇五
溝幇子同	二、四五	四、四〇
營口着	四、五五	七、五一

東淸鐵道

上り		
新民屯發	前六、〇〇	
溝幇子着	同九、五七	
營口發	前六、三五	后九、三五
大石橋着	同七、三〇	一〇、四〇

下り		
溝幇子發	后三、〇〇	
新民屯着	同六、五七	
大石橋發	前八、一五	后二、一五
營口着	同九、一〇	三、一〇

奉天小南門ノ後
和洋諸雜貨　食料品卸小賣　各種賣藥卸小賣
中越洋行
中越大藥房

天氣

營口地方天氣豫報
自廿一日午後六時
至廿二日午後六時
南の風曇り

雜報

●郵便切手の沿革

▲切手の種類　本邦の郵便制度は明治四年の制定に係り爾來幾多の變遷を經たるが今制定以來の切手の種類を擧ぐれば左の如し

五厘	七種
一錢	八種
一錢五厘	二種
二錢	十種
三錢	六種
四錢	五種
五錢	九種
六錢	三種
八錢	三種
十錢	五種
十二錢	二種
十五錢	四種
二十錢	五種
二十五錢	二種
三十錢	三種
四十五錢	二種
五十錢	三種
一圓	二種

▲現今通用の切手　左の如し

五厘	淡黑色	(三十四年四月)
一錢	赭色	(三十二年四月)
一錢五厘	菫色	(卅九年五月)
二錢	綠色	(卅二年一月)
三錢	海老紅色	(卅九年五月)
四錢	紅色	(卅二年一月)
五錢	藍色	(卅二年十月)
八錢	茶褐色	(卅二年十月)
十錢	濃青色	(卅二年一月)
十五錢	紫色	(卅二年十月)
二十錢	赤色	(卅二年十月)
廿五錢	淡綠色	(廿二年一月)
五十錢	濃赭色	(卅二年十月)
一圓	濃紅色	(三十二年十月)

▲菊花の御紋章　右十四種現行通用切手は何れも中央に菊花の御紋章ありて日本と云ふ意味を表彰し居れり而して明治三十二年二月發行以後のものに JAPANESE POST IMPERIAL の歐文を省略したるは菊花の御紋章あるか故に日本郵便切手たること明かなるを以てなり

▲圖案の分類　手切の圖案は五厘より八錢まで十錢より二十錢まで二十五錢より五十錢及び一圓の四種に分類せらるゝか其要とする所は各切手區ふの意匠を以てするときは現行か、非現行かを一見鑑別するに困難なるを以て之を記臆し易からしめんとの趣旨より出てたるものにて各國の遣り口も之れと皆同一なりと

▲紀念切手の効力　紀念の爲め發行せられたる各種の切手は孰れも無期限に有効なるか故に内國に於ける使用は差支なけれとも此種切手の外國郵便物使用は無効なり之れ先年佛國巴里に開催せられし萬國郵便聯合會議に於て一時の紀念に屬する切手は聯合國間に通用するを禁ずとの決議を爲したるに依れり而して之れか禁止の理由は蓋し各國隨時に異種の切手を發行するに對し事實上其有効無効を鑑別するに困難なりと云ふにありと

▲聯合國と新切手　聯合國に於ては新に切手を發行する毎に其同盟國の郵政廳に各五組宛の見本切手を配布し以て之か鑑別の材料に供する事に定まり居れり但し紀念切手は之が手續を要せさる也

▲千圓の古切手　本邦郵便切手中尤も歐米人に評判善きは明治五年發行の半錢切手中原版磨滅の爲「半」の字か「キ」の字となり居るものと同年發行二十錢紫色切手中和紙にて印刷されたるものとの二種にて別けて後者の如きは千圓以上の價格にて切手愛藏家間に賣買されたることある程なり

▲切手官業の初期　最初は玄々堂主人松田敦朝氏に切手原版の彫刻を擔當なさしめしも五年九月紙幣寮中に印刷課を設けて官業に移し又明治八年一月伊國美術家エドアルド、キヨソネ氏を印刷局に招聘したる結果從來の銅凸版を廢して現在の凸版印刷法を用ひ以て今日に至りしなりと

一週年祝賀會 大福引豫告

今回本社創刊第一週年祝賀として聊か讀者諸君が平素の御眷愛に酬いんか爲に大福引を催し多數の讀者に一人も漏れなく景品を贈呈するの方法を採ることに致しましたその景品中の重なるものは

一等　金時計(天賞堂保險附)　一個
二等　貴婦人用帶地(白木屋呉服店)　一筋
三等　純金指環(大西白牡丹製)　一個
四等　上等洋傘　一本
五等　縮緬兵兒帶　一筋
(六等以下は漸次發表します)

等であります、月極讀者は勿論來る廿六日より起算して滿一ヶ月以上本紙愛讀の方には周く福引券を配布します、景品陳列及び抽籤方法等の巨細も亦追々と我紙上に掲げます

滿洲日報社

●海軍音樂隊の來營　曩に四本副官旅順鎮守府出張の砌今回の記念祝會に參列を依頼し置きたる海軍音樂隊は愈々准士官一名下士九名卒十六名總人數廿六名派遣せらるゝ事となり明廿五日午前七時二十分該地を出發する旨同鎮守府より當軍政署へ通知ありたりと云ふ

●馬賊と憲兵の發砲　一昨午後十二時十分大石橋發列車の牛家屯に着するや何處より來りし者なるや同停車場と牛家屯間瀛車踏切の場所へ突然二名の馬賊出現し客馬車を引留め金錢を强奪せんとの急報牛家屯憲兵派出所に某清人訴へ出たるを以て同所の憲兵河合上等兵は急速巡捕を引率して現場に出張したる所紛れもなく偉丈高き二名の馬賊佇立せるを以て河合上等兵はそれと巡捕に合圖をなし逮捕なさんとする一刹那馬賊は俄然隱し持ちたるピストルを同上等兵に差向けズドン〳〵發放ちたるを以て同上等兵も最早是迄なりと直ちに腰になせるピストルを取り出し發砲し相互に二三發を交へたるに馬賊も同上等兵の强勇に驚き今は躊躇すへきにあらすと思ひしにや大石橋方面に向け一目散に逃げんとするに同上等兵も南無三逃られて堪まるべきやと之を追跡したるも終に其足跡を暗ませられ行衛不明となりたりと云ふ

●鰹節が不和の原因　現金主義の當世とはいへ平常水も漏さぬ心安き間柄ながら僅か鰹節十貫目が原因となり其筋を煩してまで黑白を爭ふとは隨分妙なお話なり茲に永世街居住片山鶴吉内縁の妻石黑トミは豫て熟懇の間柄なる南永世街中根町伊藤長太郎方居住中島幸吉に鰹節十貫目程所持せるを話し他へ賣却方を依頼した所幸吉は自已所用の爲め常に大石橋に往復せるを以て同地の田中組に話さんとて心能く承諾し該品を預り持參して同地所用の序田中組に至り賣却したるも折り惡く主任某不在の爲め現金を受取る事能はす其儘歸宅なし其旨前記トミに話したる所トミは受取りなから自分に渡さゞると思ひ再三督促に及びたるも一向埒ち明かすとて果ては其筋に持ち出し鰹節代支拂の說諭を願出たりと

投書籠

▲ゴム生君に答ふ小役人共、そもとは如何ん收入とは何んぞ然り予等小役人である其小役人の中には或は隔日に外泊して居る者もなきにしもあらず或は他に收入ある者ないとは予は言はぬ君若し外泊の其者は誰れであるか又收入のある者は誰であるか實名を記して說明されん事を敢て望む(眼鏡の小役)▲二百八十九號の投書籠ゴロ生の投書然り實に我れ〳〵小役人共の顏汚しだ明細に筆誅し給へドシ〳〵遠慮なく素破抜いて呉れ玉へ(價値を失ふ生)▲貴紙廿日の投書籠に東邦亭の記事が出てあつた事實全く相違ありません同亭は遊客に對する待遇は殆どゼロです殊に同じ遊客にても甲乙の別を立て甚しきに至つては數人連れ立ち遊ぶと雖も其内にて直ちに區別あるのである金錢を同等に費消しながら貧棒籤に當つた者は實に馬鹿〳〵しい話じや(被冷遇者)

告示

因拍賣於左開三日及在處施行若有買者知悉左開條規爲此特示
一、拍賣之物件木造大樞箱一個外雜物二百零十件
一、拍賣之日期定明治三十九年七月二十五日午前十點鐘仝光緒三十二年六月五日午前十點鐘
一、拍賣之地所營口通惠門街路北丁錫九住宅
一、拍賣之物件非現錢到處不能交付物件
一、如若對丁錫九有該賬及欠額々者施行以內日期告知本衙門可也
右諭知
明治三十九年七月二十三日
營口軍政署

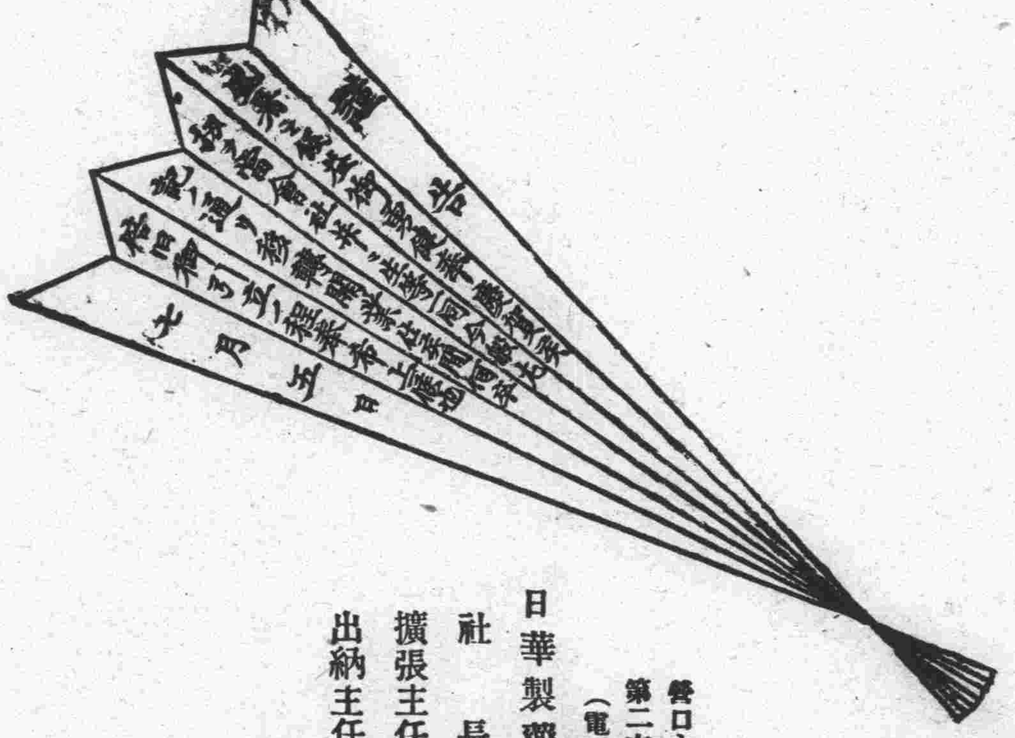
營業種目

高等化粧水　キメチンキ
煉製水　鶴美人白粉
舶來香油　セルベル香油
高等化粧下　都花茂
世界無比　ビスマルク齒磨
最上椿油　都七花香油
麝香入洗粉　當世美人洗粉
色白ナル　キメチンキ洗粉
麝香煉製　山玉石鹼
バイヲレツト　鶴美人香水
和洋　チック各種
ローヤル會社各種石鹼
ガスタール會社各種香水
高尚優美　齒ブラシ各種
ニツケル石鹼箱各種
婦人小間物一式
香水香油白粉　製造販賣

弊店の特色は確實低廉を旨として出荷迅速なり

大日本大阪南久寶寺町二
奥村友七商店

一瀛船貨物運搬業
一浮船及瀨取請負業
右營業精々勉强致し迅速御用辨可仕候
營口南永世街第二市場南へ入る
遼河運輸　同濟公司



營口永世街八一號
第二市場停車場前
(電話一七一番)
日華製藥合資會社
社長　山田長
擴張主任　御前正之助
出納主任　中里巳午太
外一同

新着

金舛洋行
盛進商行

新着荷

裝飾用鏡
洋食用品
肉碎器
秤廿六貫以下種々
手提金庫
コッピー用附屬品
(電話五番)

窓掛及附屬品
夏帽子各種
戸田式濾水器
宇治新茶
ワイシャツ及カラー
學校用文房具各種
各種複寫簿

關東公司雜貨部

永世街第廿八號
大原洋行
(無比廉價販賣す)
白米、醤油、味噌、木炭、酢、淺草海苔、罐詰、乾物、日用雜貨、漬物類、清酒澤龜特約
東京タクアン　其外和洋酒類

登録商標 キ

美術珍柄種々
新荷着仕候間陸續來觀之程奉希候
永世街 木村呉服店
電話八十八番

飯塚工程局材料部
營口元神廟前
(電話百三十五番)
弊局土木建築材料品の各産地と特約を詰び廉價を以て多少に不拘賣却仕候間御引立の程奉希上候
一北海道産松大角材外種々
一石灰、石材、敷石、碎石、煉瓦等
一日本石炭數種

醇良日本酒
サッポロビール
孔雀印平野水
大販賣
和洋雜貨 洋酒化粧品 酒類 食料品
千賀洋行 奉天鐘樓南大路西
千賀洋行支店 奉天小西關大街路北

土木建築並ニ測量設計請負
營口青堆子綏定門外 志岐組

○板材木 ○蚊張
○金物類 ○金庫
○疊建具 ○花蓙
○椅子 ○ペンキ
○テーブル
○洋燈類 ○文具
○鰹節雜魚 ○紙類
○酢醬油 ○罐詰
○其他雜貨色々
新荷着大安賣
㊂ 石光洋行 營口西北街
遼陽西門外 石光洋行支店

土木建築用諸木料
板硝子類
マルソイド便利瓦
九州セメント
オールドスコッチウヰスキー
廉價販賣
營口青堆子綏定門外
志岐組商業部

氷
飲料好適 營口衛生署試験認可済 田庄臺大盛貯氷公司
發賣元 營口元神廟街成功號三階(電話一三四) 田庄臺大盛貯氷公司販賣部
特約店
大連信濃町市場前 大原商店
營口二本町 丸山氷室
營口永世街 衛生軒
營口永世街平野町角 山田氷室
營口第二市場前 松木氷室

新築廣告
鐵嶺西門外停車場通り商品陳列場附近
一西洋風日本建貸家 間口三間奥行四間 八戸
右は鐵嶺屈指の地にして目下建築中に付本月下旬には落成致候間御希望の御方は至急御來談あれ
明治三十九年七月

營口西北街 裕和盛號
鐵嶺東門外大街 裕和盛支店
鐵嶺支店雜貨部並に鐵道遼河運輸部をも仝時に落成仕候間移轉の上は大改革を爲し貴需に可應候條御引立の程伏て奉願候

東京守田 寶丹 本日より發賣
今般營口占領二週年祝として特別廉價販賣仕り候間御用の方は左記の處へ御注文又は來談ありたし
營口二本町菊水料理店内
滿洲一手販賣 東洋堂
永世街 中馬藥店
仝 淺野藥店

牛莊松岡病院
内科 外科
眼科婦人科診療
入院治療を諾す
殊に外科は無痛手術を施し梅毒淋疾痔疾皮膚病耳鼻咽喉諸疾は根治的療法注射療法或は血清療法を施す
元神廟街第百三十四號
全科醫士 松岡玄雄 (電話一五一番)

御披露
小亭義皆樣の御引立を蒙り日に増し繁昌に趣き候に付て今般京都より指折の藝妓一名及仲居を呼寄一層勉強仕候小亭の特色たる安價と輕便とを以て御客樣の御厚意に酬ひ度候尚夏向き丈は別に氷部を設け金時白玉何なりと御望に應じ可申候間何卒倍舊御引立の程伏て奉願上候
月 日
元神廟街 翁亭

病室増築輕便入院
是迄病室少く多數の貴需に背くを遺憾とし今回更に増築し輕便を懇切を主とし一層院務を擴張し汎く専門の功果を收とす
○全身魔醉。○局處魔醉。
○嶄新器械。○無痛手術。
○梅毒○婦人科○外科○胃腸病 専門
日本醫院

石材 石灰 入販賣
英治洋行 (營口西北街) (電話三二)

資本金參拾萬圓
日清合股
㊀昌 總局 盛京省昌圖府東街
既設分局 牛家屯車站、昌圖車站、四平街、通江口、大連、遼陽
滿洲昌圖 株式會社 營口分局
營口元神廟街第貳九八號
本公司經官准認眞開辦左開生理
一、東清鐵道轉運
二、昌圖以北馬車運送
三、轉運貨物保險
四、抵貨匯兌
五、各支店所在地棧房
兼辦關内外鐵道又海外轉運(與大清通運公司連接)東清鐵道沿路屬要各站分局現方在設備中倘蒙賜顧貴客愛顧務祈貨客親自到本號賬房及各處分局賬房面議貨價若干議定白載途倘有水濕毀壞短少等之弊俱歸本公司言明接卸地市價包賠此

廣告
スペシャルライトは東洋に於ける外國製麥酒を驅逐せんが爲め特に釀造せるものにして原料精撰風味高尚夏季唯一の好飲料たるは世上已に定評あり
高等麥酒スペシャルライト
本月一日より麥酒取引は一切現金にて御願申上候
六月
釀造元 大日本麥酒株式會社
滿洲一手販賣店 營口元神廟街 關東公司雜貨部 (電話五番)
分店 奉天四平街 電話十三號 關東洋行

遼河々岸 牛莊ホテル
營口唯一西洋式のホテルにて宿泊料は極廉なり
酒部屋及玉臺理髮所の設備あり
食堂の外休憩所及應接室あり御會談に適せり
大集會御人數百名位の設備あり
アイスクリーム等の多少に拘らず御求めに應ず
高雅にして見はらし最良の景色に富めり
開業の披露として料理切手一千枚限り發賣す
第一等二圓第二等一圓五十錢第三等一圓

支那叢書 第壹編 支那政府組織 全 (定價一圓)
清國の情況を知るは現下の急務なり清國の情況を知らんと欲せば先づ組織の眞相を知らざる可らず老帝國政府の眞相を知らんと欲せば乞ふ斯書を一讀せよ
軍人諸君には特に一割引とす部數に限りあり至急御申込あれ
販賣所 營口軍盛街 滿洲日報社

歐米各國最新流行形
西海洋服店
永世街一四一(森病院三軒目) (電話二百十七號)

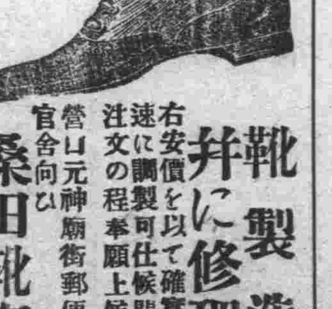
◉煉瓦販賣
上り窰ニテ日本人ノ製造シタル堅牢ノ煉瓦ガ御望ナレバ當洋行ニデ御需メクダサイ
二本町 高坂洋行 煉瓦製造部 (電話九十番)

御料理 三河樓支店 旅館
弊館は奉天城外十間房第一の風景美なる地にありて最も納涼に適す今般業務擴張と同時に宏壮なる日本家風の二階屋新築し樓上等も暑に應ずる設備致置候間續々御光來被成下度伏して奉願上候以上
樓主 川上總吉

淡谷木局
本號開設營口東青堆子發賣栢木方料栢木元料紅松料木油松方料元木大小檁子廿四尺栢木大杆木板此木材出售價廉採買客人不知謹此廣告
東青堆子橋南 淡谷木廠

謹告
弊店儀今度彌生跡を引受け新來の年若美形を揃へ料理は勿論御待遇家事萬端一大刷新を加へ御手輕御清遊に適する樣店中車輪の大勉強何卒倍舊御愛顧の程伏して奉願上候
御客樣 店一同
醉月
營口永世街第壹号 電話(彌生四十一番)

諸鐵工製作
鑛山船舶機械鐵工
輕便鐵道附屬鐵工
土木建築用鐵材料
其外鑄物諸般
營口綏定門外ブリッシ商會東 喜川鐵工所


靴製造并に修理
右安價を以て確實迅速に調製可仕候間御注文の程奉願上候也
營口元神廟街郵便局官舍向ひ 桑田靴店

家屋賣却廣告
一平家、十三間、五間
一二階、一間半、七間 附屬物共
一永世街元福田旅館跡全部
本月二十七日午後三時に左記の所にて競爭入札に付す
但し受渡は現場儘
營口平の町 百武組代 大賀庄太郎

會席料理 三日月
營口警務課前南江入る

和洋會席御料理
一弊店の特色は座敷廣くして大宴會に適當なり宴會の時は舞台に造附且又會費等は特に割引大勉強仕候
營口永世街二本町 日本館 (電話百三十)
各位樣

宮門抄

二十七日

兵部　太僕寺　廂白旗值日無引　見　芬車假滿請　安　陸潤庠請假十日

召見軍機　張亨嘉

石長信遞封奏一件

論說

論學部辦事之蠢

朱　淇稿

近日自費學生之請咨出洋留學者。多爲學部所駁。不肯給咨。於是自費之生。皆不請政府之咨。逕自出洋留學。僕每見此事。輒不能不歎息我政府辦事之卒愚而極蠢也。夫人自備貲斧。出洋留學。非學部所能阻遏也。給以咨文。固能留學。即不給以咨文。亦一樣出洋留學耳。何必吝此一紙之咨文。致爲學生之怨府乎。此眞所謂枉作小人者也。夫人民輸其賦稅於國家。固謂國家能代人民辦事也。故人民有供給國家之義務。國家即有代人民辦事之義務。此地球萬國之公理也。教育全國人民。乃政府之義務也。政府已不能普施教育。而至需人民自備貲斧。出洋求學。政府已不能不引以自慚矣。乃出洋之始。並此一紙之咨文而吝之。人民其謂政府何。夫咨文者片紙耳。此所謂惠而不費者也夫既無所費。而復從而吝之。此誠大惑不解者也。人民既不能解其惑。於是以小人之腹。度君子之心。謂政府有意遏抑人民之教育焉。此雖非政府之本心。然既有不給咨文之舉動。即不能免外間有此謠言矣。且今日列國並立。專制之壓抑。漸不能行。與以咨文。學生之留學如故。不與以咨文。學生之留學亦如故。倘若出洋之始。學部給以咨文。又囑出使大臣妥爲照料。如此。學生雖不能得官費。而於政府尚有一線之感情也。今官費既不能得。並一紙惠而不費之咨文。亦靳不我予。爲學生者。焉得不怨乎。學生既有怨政府之心。於是革命黨從而煽之。此革命排滿之風潮。所以騰於學界也。然則謂學生之革命排滿。乃學部辦事之蠢。所激而成。亦無不可也。凡治國皆以固結民心。爲第一要義。然固結而得百庸人之心。不如固結而得一豪傑之心。學生者。乃人民之聰慧而有材學者也。政府而欲固結民心。不固結學生之心。將誰結乎。且幸而今日之革命黨無豪傑耳。倘不幸而有豪傑遠識之革命黨。移其招徒衆購軍火之貲財。以徧開學堂於海外。凡政府所不肯撫綏之學生。革命黨皆取而撫綏之。且廣施以教育焉。如是則十餘年後。革命黨之人材蔚起。豪傑歸心。天下事未可知矣。此等危機。政府諸公。全不知覺。豈非至愚極蠢。全無腦筋者耶。今出洋學生數萬人。其中不領學部咨文者。居其大半彼既未領咨文於始。今雖補給咨文。學生亦未必肯受。政府若欲補救。亦惟有電囑出使大臣。將所有自費學生。加意撫綏。以恩結之。並令未領咨文之學生。速赴出使大臣署內注冊。轉咨學部存案。將來學成之後。凡册上有名者。皆與官費之生。及已領咨文之生。一體得優等出身。如此則尚可挽回學生一線之感情。而亦少息革命排滿之惡念也夫。

中外要聞

●澤尚兩大臣到滬紀盛　澤尚兩大臣已抵上海滬上極爲擁擠街上巡捕極爲嚴密防閑海上亦拋泊兵船旂幟飄展極形熱鬧滬道瑞觀察暨上海縣汪大令及文武各官均先期乘坐鈞和兵輪駛赴吳淞迎迓駐滬各國領事亦聲言竭力幫同保護考察政治大臣現澤公等擬倂俟端戴兩大臣抵滬後一同回京云近接檳榔嶼來電言端戴兩大臣已到該埠定搭原船約於本月二十九日到上海

●中國催俄議設稅關問題　聞外交消息云中俄陸路通商條約內載有中俄兩國政府當即互派委員會同磋商在邊界開設稅關以抽稅出入貨物等語然該條約訂結以來已經數年蹈中中國屢催俄派員磋商然俄國籍口遷延迄未開設以便俄國貨物入華境暢銷蓋此事不但係違約舉動亦且於各國利益均霑主義頗有窒礙宜由中國政府照會俄國從速遵約派員磋商開設稅關或云美國駐京參使日前照會外部請速照會俄國開設稅關以便北滿洲之開放蓋固然之事也

●查辦徵兵鬧事　蘇州因兵勇鬪傷新徵之兵一案所有南京紳士府有覺見現擬向練兵處稟請派大員認眞查核妥籌辦法

●揚州飢民搶米　揚州飢民毀拆米舖五家所有貨財搶掠一空

●電防護出洋大臣回京　聞巡警部電南北洋大臣略稱出洋考查政治大臣抵滬啓行回京沿路警備務宜加意嚴防以免有意外之虞京津一路尤關緊要須格外嚴防於出洋大臣回時竭力保護云云聞袁宮保已飭京津車站加派巡兵屆時妥爲照料警備矣

●慶邸那中堂赴日署謝步　二十六日午前慶邸那中堂等赴日本使署見新簡林公使謝步

●鐵路大臣整頓運鹽新章　聞督辦京漢鐵路大臣唐侍郞因由北京南達漢皋火車運鹽章程辦法未善茲特另行訂定整車運鹽格外格單並章程八條刊發傳單列入第三十七欵自中曆閏四月廿四日起(即西歷六月十五日)認眞改良照章實行所有鹽斤每噸一啓羅密達運費若干公費若干及中途換車並他路來車租借等費均一一載明單內令人一目了然以便鹽商而杜弊竇蓋自京漢通車之後唐大臣無時不以興利除弊爲急務而行車監督柯陶二觀察又能實心任事不遺餘力宜車務之日有起色也茲將章程八條揭載於後以供衆覽(一)運貨係按每車裝載六十包共重二十一噸二百啓羅之數核收按蘆鹽每包重五百八十五斤六十包共重三萬五千一百斤合法權二十一噸二百啓羅(二)須由寄貨者請援此欵價單始能照辦否則仍按總價單核收運費(三)以上所開運費均以洋元爲準設此後洋元跌價太甚致本路必須增長各項運費則此款之價亦必一律照加(四)裝貨以十二鐘爲限自交車令裝時起計卸貨亦以十二鐘爲限自交車令卸時起計每延十二鐘或未及十二鐘均須加費每車洋三元(五)送貨者坐貨車內亦應照三等搭客償納票費(六)嚴禁裝鹽踰令此所定每車之噸數雖多裝三百斤本可寬宥而此款所定二十一噸二百啓羅合三百三十餘斤之數已極盡貨車之重最踰必生險不准再多(七)凡由津榆鐵路運鹽至豐台仍用原車轉入京漢者及至保定當改裝京漢二十噸之貨車其換車之費係由寄貨人照納設寄貨人至是猶欲留用津榆原車運往所赴之處則當備函請諸京漢並須持示津榆憑單准將原車掛往方可如此辦法寄貨當加納租用津榆車輛之費(八)路上如有毀壞遺落等等均與本路無涉本路所收之費祇係運費途中看管貨物乃寄者切己之事

●肅邸封奏述聞　日前肅親王遞一封奏據傳聞係條陳整頓蒙古事宜大意謂以開墾蒙古荒地募練蒙兵振興學校三事爲急不可緩之舉其舉辦新政一切籌款事宜須以蒙古開荒爲籌畫餉源之根柢洋洋數千言　兩宮深爲嘉納

●塔城設巡警局　塔爾巴喀台辦事大臣安成奏到一摺報告塔城設立清源巡警局以彈壓地方已交警部知道矣

●提學使將東游　新簡提學使前日已經請訓刻已將次出京赴日本遊歷

●英國將開賽會　英國德博林明年將開賽會商部已譯錄章程咨行南北洋示諭紳商如有願入會者尅期電復

●札派新嘉坡協理　札派新嘉坡協理十人　各處商務總會照章只派協理一人現在新嘉坡所設之中華商務總會商部以該地爲南洋商務總匯關係切要且外洋情形又與內地不同因特變通辦理札委協理十員以示鼓勵

●盜搶錢鋪續誌　二十四日晚俄兵被盜鎗傷一節已誌前報茲聞受傷之俄兵一名鎗彈貫腸甚沉重有旦夕不保之勢云

聞是日有一巡捕惜逸名能與盜戰雖身受二彈然恐盜遠竄冒死健鬪俟他巡捕等來援始退其勇實使旁觀者嗟歎不置

聞盜等入天興號出銀請兌換店夥即出錢兌換將藏之銀櫃盜等乘間鎖戶刦奪銀六百餘元又聞是日夜半有人戲束竹木裝以衣服出城廟欄下巡捕見以爲盜走告俄兵乃俄兵三四十名執鎗排隊趨其地杳無人影唯見竹木耳乃知虛受驚恐遂即回營云

雜報

●翼長赴阜　昨聞阜市人云直督袁慰帥之次公子某甫少年英彥精於訓練新軍且洞悉時務凡於英美日德法諸國語文無不諳習詢當世特出之才也近承　上命派爲奉天馬步全營翼長聞由天津東裝啓行東出榆關前日午後常備軍隊幷鐵路巡警隊全行排列迎迓旌麾本埠監督與倉公亦由河南前往迎接極盡賓主之禮情甚款洽旋赴牛家屯車站搭坐汽車赴省云

●負嵎拒捕　昨聞南城所來人云日前貔子窩附近處驟聚鬍匪四百餘名大肆猖獗四外刼掠毫無忌憚前數日華官請日軍兵隊二十餘名前往助剿而賊等負嵎據險奮力迎拒奈寡不敵衆竟失利退回尚有三二被創者或聞又調去日軍百餘名誓必勦滅該賊識者曰不帶礮隊以制賊之死命終難操必勝之權聞有某日官曰現時平地雨水汜濫橫流深沒人股載礮諸車實難行動須俟道路可行再往勦捕云

●姦嫂害兄　聞有山左靑郡臨朐縣城南匪徒劉笏臣者自幼即在關東等處無所不爲由光緒十六年回家將其兄嫂誆出携至營口牛家屯居往其人心地不端獸心人面與嫂謀姦已成去歲二三月間其兄身得汗症投醫將愈不意笏臣陡起不良口稱醫葯不效遂偷買得砒霜若干投於葯中其兄服之立斃至秋間家中得其信息忽有人來間訊伊自覺無言可答乃詐怨該醫庸術殺人至秋間上天報應淫婦身得暴病口言故君索命一二日即死撇下三女長女廿餘歲次女十九歲三女十二三據隣人言伊復與侄女同床不知廉恥喪盡天良行爲若此王歲法縱然可逃陰律亦必隨及云

白話

記易新華女傑事

聽說順天府某縣地方。新近出了一位女志士。姓易氏。名新華。有文明大思想。因那縣風氣不開。立志擔當開通責任。就於某月某日。趁鄉人趕集的日期。親赴集場。在高處搭了一個臺。對衆苦口演說。一說國家的積弱。大原因由於人民不知振作。二說要國家速强。宜人人受教育。要人人徧受教育。宜多多公同設立。小學堂。三說要國家速富。宜在工藝上著力。工藝不能大興。富源即不能暢通。四說人人宜有公共心。不可但知自私自利。不顧大局。五說須先有了愛國思想。然後再能做出救國事業。六說人宜勞動。不宜安逸。安逸反易致病。况現今是什麼時勢。豈可飽食安眠。不動思想。七說地方上應辦的事。總得人人著力。方能成功。但憑一兩個人著急。是沒用的。八說優勝劣敗。天演公理。現在是競爭時代。人不能自圖存立。那可就要做牛馬奴隸了。易女士當著大衆。一層一層的。反覆比喻。說了又說。說到危急的時際。眼淚一汪。屢屢要滾將下來。臺下的人。忽見有一女子。在臺上演說。且說得至情至理。娓娓動聽。人越聚越多。都來聽講。也有點頭的。也有歎氣的。也有聽了幾句就走的。也有一面聽著一面向人議論的。有一老太太在臺下走過。問人道。這位姑娘說的是什麼呀。許是喫了天主教了。一人叱道。胡說。你既然不懂。別開口了。正在問答的時候。忽見人叢中。出來了一位小女學生。向臺上對答道。易家大姊。您說須先有愛國思想。再能做出救國事業。這句話。眞有理呀。倘不知國和家有密切的關係。不知保國即所以保家。那能不顧生死。不顧私利。血誠救國。做出偉大可驚的事業來呀。現今社會。愛國思想四字。眞是第一要義。愚妹今日已領教了。過天還要到府。多多請教呢。那時臺左臺右圍觀的人。聽了他們兩位女子。一演說。一對答。都是沒有聽見過的。個個面面相窺。有搖頭吐舌的。有伸直大拇指頭讚好的。閒文少叙。這縣四鄉的人。從此次聽了易女士的演說。你說我講。漸漸的知道國和家關係的公理。就大家會議。做了許多公益的事。可見易女士一天的演說。關係一縣的利害。眞是文明導綫的大動力。本社特記此事。宣布報告。請我中國二萬萬女同胞看著記著學著。

尚以後吉林長春ヘ…地方ヘ御越シノ方有之上ハ聊カ御示談申上度義有之候ニ付御都合上御來訪ヲ乞フ

營口旅館料理店案内 いろは順

旅館料理 第一樓 元神廟街九十六號（電話八四番） 營口ホテル

料理 入船亭 永世街百八十三號 谷初次郎

料理 一力 營口永世街 店主 堀万助

旅館 日營ホテル 西岸通り 店主 井上源吉

料理 東京館 永世街八十六號 店主 村上京四郎

旅館 東京樓 營口新市場前（電話六六番、四番） 店主 熊田乘次郎

旅館 東茂旅館 西北街百七十三號元金銀行西三程

料理 千鳥 元神廟街百三十三號 店主 吉住善藏

料理 沖の島 永世街百六十四號 店主 中川彌三郎

料理 吉野亭 永世街八十六號 店主 坪田正助

旅館 高砂ホテル 西北街（電話一四五番） 店主 片山小みつ

料理 樂々亭 營口元神廟街 店主 武部貞

旅館 大和館 永世街三十四號（電話十一號） 店主 前田九一郎

料理 萬梅 西神廟街第百〇四號 店主 田島彌助

料理 まんなをし 永世街字二本町二百五十九号 店主 和田常松

和洋料理 公樂園 南永世街

料理 喜樂亭 營口平野町

旅館 東雲旅館 永世街七號 店主 谷口今朝太郎

料理 醉花園 旅館 滋谷旅館 永世街百二十七號 店主 滋田留吉

爲替相場（七月十九日）

日本向 百〇一圓七十五錢（營東百圓に付）
上海向 七十一兩二分ノ一（同）
天津向 一百四圓十二錢五厘（同）
芝罘向 一百〇三圓六十二錢五厘（百弗に付）

日本品最近物價表

紙類 加藤洋行

一 半紙 一〆 二圓九十錢より三圓〇〇錢
一 美濃紙 仝 七圓五十錢
一 仙花紙 一帖（六十枚） 六十錢
一 塵紙 一〆 一圓七十錢

室内裝飾品及寢具 矢野洋行

一 仝 二十枚續 三錢二厘以上四錢
一 仝 百枚 十二錢以下十八錢
一 三枚組 六圓九十錢以上六十五圓
一 十帖 五圓五十錢以上三十五圓
一 五圓五十錢以上十四圓

一 疊表 二圓六十錢以上三圓
一 十枚 八圓
一 麻紹 疊數 三圓
一 線紹通 仝 三圓五十錢
一 由加多緑 仝 一圓七十錢
一 白毛布 二枚組 八圓以上十五圓

さるそば 第一更科 きるそば 第二更科 營口元神廟街 永世街

和洋料理 松月亭 營口元神廟街 店主 佐藤惣太郎

料理 都樓 平野町 店主 阪本

旅館 品川館 營口永世街一六五號

奉天旅館料理屋案内

商人御定宿 瑞豐館 奉天小西關大街北側 館主 河野嘉吉（電話 番）

會席御料理 高等御旅館 天神樓 溫泉付大勉强キレーヂアイレヒ 奉天小西關大街南側（電話 番）

旅館料理店 日盛館 奉天小西門より一丁目の北に入 館主 入江能男（電話 番）

御料理 梅ケ枝 館主 辻井ムノ

高等御旅館 茂林館 奉天小西關大街路北

旅館料理店 日章館 奉天小西關大什字街南へ入（電話二十四番）

御旅館 瀋陽館 奉天小西門外大街路北（電話 番）

御定宿 第二東京館 奉天小西關第五分局入〇一番 館主 松田甲四郎

今回弊館組織に大改良を加へ清潔閑雅を旨として旅館を專業に單ら御客樣の御便利を計り內湯新調仕候間御來宿の程奉願上候

御旅館料理店 梅松館 奉天城内旅市街東華門宮殿東側 館主 押尾富次郎（電話 番）

今回弊館座敷增築の上清潔廉價を旨とし川魚（鰌丼鯰蒲焼）等をも新調且つ仕出等致し御中喰には至極御便利に御取り計ひ可仕候多少に不係御用命の程偏に奉願上候

古料理 滿月 平野町（電一六二） 滿月支店 平野町入口 店主 青木勝惠

和洋 御旅館 御料理 奉天館 奉天軍政署指定旅館 奉天城内鐘樓南大街（電話十四番）

日清倶樂部（電話十五番） 奉天城内大南門裡大街 麺麭製造 西洋洗濯 靴製造 日本大工 理髪 裁縫

氷 卸小賣所

奉天小西關新東富街々 御料理 本店 金城館（電話十九）
奉天小西門外什字街 御旅館 金城ホテル（電話一〇）

料理店旅館擴張廣告

四方各位益々御清榮奉大賀候陳者弊店儀曩に滿洲樞要の都府に當る當奉天小西門外什字街に料理店旅館開業仕候處日に增し盛大を來し從つて家屋手狹まを感じ候に付今般一層業務を擴張し更に本店を當府小西關新來街に設け以て專門の料理店となし日本式ナ宴會（百人迄の設備有之候並）に歌舞演藝に適する樣大廣間落成致し候に付き此際本支店共奮つて一大改良を施こし親切叮嚀に衛生と清潔とを主とし精々勉强廉價に相務め可申候間尚一層之御愛顧御引立の程伏而奉冀上候 敬白

追而料理店旅館の位置は奉天小西門より約二丁西方に當り市街輕便鐵道を中心として旅館は東方へ約一丁餘料理店は北方へ約三丁有之候間御來駕之節は路上の目標の御注目被成下度特に願上候

營口永世街 御料理 支店 金城館（電話八三）
營口永世街 御旅館 支店 金城ホテル
大連市吉野町 御料理 支店 金城館
大連市吉野町 御旅館 支店 金城館

和洋御料理 高等 遼東館 遼陽城内東街一八九號 電話 號

滿洲第一湯崗温泉 風景佳絶、旅館、料理、遊技完備
効能、胃病、脚氣、神經痛、子宮、刀瘡
營口○—大石橋○—海城○—□湯崗温泉全停車場—遼陽○—奉天○

來る二十六日軍政二週年祝の爲自轉車にて市中れり廻り仕度候に付御賛成の御方は日本町木村寫眞館向練習場迄御申込相成度候也
日本町 中村自轉車店

御料理旅館 扶桑館 奉天大西關大什字街 第五分局千〇六十八号 館主 堀田ハル 電話 号

喜久洋行

啓者本行專售東洋各種木料板片及亞鉛洋鐵瓦東洋大塊炸子消毒生石灰洋釘木炭等物敝行在青堆子自置棧房堆積貨物裝船裝車一概方便物美價廉格外公道倘蒙 中外紳商賜顧者請到本行面議是荷
開設永世街第二小鐵道市場路東
本行主人謹白（電話一五二）

安奉鐵道安東縣驛ヨリ五龍背驛迄一時間半 温泉場ハ五龍背驛ヨリ僅カ一丁 眺望絶佳今ヤ新緑滴タルノ下清流掬スベキノ仙境タリ
滿韓境上唯一樂園 五龍背温泉
當温泉ハ元陸軍療養所ニシテ今回公衆ノタメニ開放セラレシモノナリ 効能ハ脚氣、痔疾、刀瘡、神經病、胃病、子宮病、僂麻質斯、黴毒、痳病等ニ特効アリ

軍隊用雜貨 日用品雜貨 呉服太物類 化粧品類 陶器類 食料品類
卸小賣 石原商店 營口永世街七十號（第二市場東）
其外新荷着精々安價販賣

りん病（醫藥學細菌學應用 萬國陸海軍局方參照） せうかち ボーコーカタル 即ち花柳病の特効新藥

藥價 三日分 三十戔 七日分 五十戔 十七日分 壹円 小包料十戔
韓各有名薬店 取次全國各地及清
大阪江戸堀下通三丁目（電話西千五十九番） 本家〔安々堂薬局〕

複方 痳病丸（白濁薬）
此藥専治白濁五淋赤白帶下及痳病初起之腰痛發熱痙攣疼痛男子牛殖器病女子子宮病服之應手奏効不可疑聖藥也 宜用嘎洛不洛散洗淨患處則奏愈速
批發所 營口永世街警務課東隣 回天堂大藥房 電話百九十號

上海 中非洋行 專運日本各式紙料
本行開設已歷多年曾與日本製造名廠訂有專銷之約凡紙類紙料印書籍各式紙料莊票包棉紗筍草板紙張日本機器連史紙五彩印字連墨其他各件紙料一切統由本行出售 貴客惠顧請至江西路五十一號門牌可也 中非洋行

自製煉瓦●瓦 並に各種石材販賣 營口青堆子 加州組（電話八十六番）

MANCHURIA DAILY REPORT.
Subscription 4 cts. a copy
80 cts. per month.
$2.30 per 3 months.
$4.80 per 6 months.

本紙定價 一枚ニ付 銀四仙 一ケ月前金 銀八十仙 一ケ年前金
廣告 二十一字詰一行一回